

ルノワール 陽だまりの裸婦 (2012)

RENOIR

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記 アート

製作国 フランス

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2013/10/04

公開情報 クロックワークス=コムストック・グループ

映倫 PG12

【キャッチコピー】

私の絵に、
暗い色はいらないー

【解説】

印象派の巨匠オーギュスト・ルノワールの晩年を「黒衣の花嫁」「トト・ザ・ヒーロー」のミシェル・ブーケ主演で映画化した伝記ドラマ。彼のひ孫ジャック・ルノワールの原作を基に、病に苦しむルノワールが苦境の中で描き上げた最晩年の傑作“浴女たち”の誕生に秘められた物語を、彼の最後のミューズとなった女性アンドレとの関係を軸に描き出す。ヒロイン、アンドレ役はフランス期待の若手クリスタ・テレ。監督は「メッセージ そして、愛が残る」のジル・ブルドス。

1915年、コート・ダジュール。晩年を迎え、病に冒され絵筆を持つことも困難になったルノワール。最愛の妻に先立たれ、そのうえ次男のジャンも戦地で負傷したとの知らせまで舞い込む始末。そんな失意のルノワールの前に、モデル志願の若い娘アンドレ（通称デデ）が現われる。その美しさに思いがけず創作意欲をかき立てられたルノワールは、彼女をモデルにした新たな裸婦像の製作に乗り出すが…。

【クレジット】

監督	ジル・ブルドス	Gilles Bourdos	
製作	オリヴィエ・デルボス	Olivier Delbosc	
	マルク・ミソニエ	Marc Missonnier	
製作総指揮	クリスティーン・ドゥ・ジェケル	Christine De Jekel	
原作	ジャック・ルノワール	Jacques Renoir	
脚本	ジェローム・トネール	Jerome Tonnerre	
	ジル・ブルドス	Gilles Bourdos	
脚本協力	ミシェル・スピノザ	Michel Spinosa	
撮影	マーク・リー・ピンピン	Mark Lee Ping-bin	
美術	ブノワ・バルー	Benoît Barouh	
衣装	パスカリーヌ・シャヴァンヌ	Pascaline Chavanne	
編集	ヤニック・ケルゴ	Yannick Kergoat	
音楽	アレクサンドル・デスプラ	Alexandre Desplat	
出演	ミシェル・ブーケ	Michel Bouquet	ピエール=オーギュスト・ルノワール
	クリスタ・テレ	Christa Theret	アンドレ
	ヴァンサン・ロティエ	Vincent Rottiers	ジャン・ルノワール
	トマ・ドレ	Thomas Doret	

ミシェル・グレイゼル
ロマーヌ・ボーランジェ

Michèle Gleizer
Romane Bohringer